

### 吾妻東バイパス

### 文化財調査状況と今後について



用地等のご協力をいただきありがとうございます。お譲りいただきました土地から順次、埋蔵文化財調査を実施しています。今年度は、植栗地区、厚田地区において調査を行い、縄文時代から江戸時代までの人々の暮らしの様子がわかる遺構が発掘されています。

写真提供(公財 埋蔵文化財調査事業団)



【植栗地区】

中世の大型建物が5棟見つかりました。建物のまわりには溝が巡り、当時の有力者の館と考えられます。



【厚田地区】

約1600年前の古墳時代の住居です。家の梁(はり)や垂木(たるき)に使われた木材が炭となって焼け落ちた状態で見つかりました。家の中からは、煮炊きした竈(かまど)も良好な状態で見つかり、竈の周りには当時使われていた土器などの生活用品もたくさん見つかりました。

今後、調査が終了した場所や調査不要と判断された場所から工事着手の準備を進めていきます。

また、用地の取得も引き続き進めますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。なお、用地補償契約等についての疑問点、ご不明な点がございましたら、用地係(担当：山田、塩野、高野、富田)までご連絡をお願いいたします。

### 吾妻東バイパス2期

### 用地等のご協力について



土地の評価が終了し、継続して用地の測量や建物等の補償調査を進めているところです。

用地等のご協力のお願いに先立ち、用地取得に向けたご案内の通知及び資料を順次、発送いたします。同封されます調査票に必要事項をご記入のうえ、ご返信ください。

なお、返信がご面倒であれば、用地係(担当：塩野、高野、富田)まで電話連絡(土日祝日を除く)をいただいても結構です。

また、調査票に基づき、補償調査が完了した方から補償説明に伺う予定です。

松谷（松下）地区については、現在、国道145号の南側で新しく道路になる部分の盛土や擁壁の工事を行っています。今後は、現道（車が通行している部分）も工事が行われ、将来計画に合わせて舗装や用排水路、縁石、防護柵などをつくり替えていくこととなります。

このうち、道路側溝については、それぞれの場所ごとにどのくらいの水量が流れるか検討し（路面だけでなく周辺の宅地や畑などから流れ込む分も含まれています。）、側溝や管の大きさ（断面積）や位置を決めています。最終的には、現在と同様に吾妻川や久々戸沢へ流す計画となっています。

具体的には、下の写真のように地形や構造物により、おおまかに4つの範囲（流域）に分かれています。



※ それぞれ色分けされた範囲ごとにU字溝やヒューム管などで水が集められて川まで流れます。



※ 現場では、**完成予想図や工事の進捗状況**を地域の皆様にお知らせするための**掲示板**を設置していますので、こちらもぜひご覧ください。

上信自動車道建設事務所ホームページでも情報を掲載していますので、是非ご覧ください。  
→ <http://www.pref.gunma.jp/07/m04300047.html>

上信自動車道

検索



スマートフォンはQRコードを読み込んでください。